

5 日目

件名：佐々です、稼ぎのイメージをつかむ方法

####name####様

こんにちは。

佐々 賢太郎です

昨日、稼ぎのイメージがわからないから稼げない  
ということをどうやって払拭するのかについてお話しました。

ところで、稼ぎのイメージって何でしょうかね。  
では一つ、例を出しましょうか。

例えば僕、北海道から来た人から花畑牧場の生キャラメルをいただきました。  
で、それを食べたらキャラメルの常識を覆したもので  
びっくりしました。

キャラメルって固いイメージがあるんですけど  
これを食べたらやわくてやわくてびっくりしました。

で、これを食べたときはりんごのジャムの塊を食べている感じです。  
そして2分もしたらすぐなくなります。

キャラメルというより生チョコレートを食べているに近い。  
そういうものです。

→ <http://item.rakuten.co.jp/snowland/102708/>

で、こうやって宣伝文を作ります。  
で、次にお客様を集めるのですが

この花畑牧場のキャラメルは誰が買うのか？  
これをある質問によって見つけます。

それが集客ノウハウです。  
最後にブログで伝えるのか、メールマガジンで伝えるのか？

そういった場の提供が最後になります。

で、これが実際に後は形にしたら  
キャラメルをほしいと思っている人たちがこの文章をみて  
一気に買う。

あるいは従来のキャラメルとは違ったものとして  
それまでのキャラメルを食べていた人はショックを受けて  
買う。

後は芸能人が美味しいといっているから  
自分も食べたくなるという口コミ効果。

で、稼ぎのイメージってわかりました？  
わかりませんよね。

なぜなら実際に僕ならどこに何を作って  
そしてこういう文章を書いて、どうしてこれを書いたのかといった

生の実例がないからです。  
僕ならこうやってメールで書いた後、シーサーブログで作って

そして感想文をひたすら貼り付けます。  
で、他のものもついでに紹介しておく。

そういうスタンスを取ります。  
全日本上手いもの紹介みたいなブログを作ります。

楽天で上手いものを仕入れて

そして実際に味わって集客は同じキャラメルについて書かれているところにトラックバックをうち、あるいはキャラメルを食べるところを動画に載せるなど・・・いろいろと応用はきくわけです。

でも・・・何をいいたいのかなんてこと、わからないでしょ。  
というよりどうやったらこういう発想が出来るのか、  
また、ブログってどうやるのとか

集客ノウハウってよくわからないといった  
些細な疑問点があり、躓いている。

そうじゃありませんか？

わからないなら自分なりに解決すればいいけれど  
面倒くさいから解決するつもりないし

そもそもアフィリエイトで稼ぐことがすごく面倒に感じた。  
そう思っていないですか？

で、ここで僕がこうやってメールで書いても  
伝わらないので、実際に僕の手順を乗せたとしたら・・・。

例えばこのように  
→

ちなみに僕なら誰を集めるのかは大体決めています。  
それは北海道に行きたいけれどいけない人です。

まあ理由は北海道でないと手に入れることが出来ないから。  
具体的には・・・。

ということを事細かに載せています。  
これだったら稼ぎのイメージがつかめないという疑問を払拭できると  
僕は思っているのですが、いかがでしょう？

でも、ここで大切なお話があります。  
それがちょっと痛い話になるかもしれませんが

そのお話はまた明日。

---

佐々 賢太郎

メール kntr33@piano.ocn.ne.jp

HP <http://daikon33.biz/>

---

配信解除URL

<http://1lejend.com/d.php?t=###tourokuid###&m=###mail###>

さて、ここにもう一つ実演（ウラササ）サンプルを入れます。  
僕ならこうやってこうすることをより鮮明にするのです。

ちなみにライバルが多いと思ったら他のほうも見ておくのは一番です  
が、僕ならライバルが多いと突っ込んで他のもつくて差をつけますね。

で、次にやっとお金と時間の話をします。

6日目

件名：無料の情報はもういらないですよ

####name####様

こんにちは。  
佐々 賢太郎です

いきなりですが・・・こういうデータがあります。  
それは、とある超有名難関大学向けのみ配っていた雑誌があります。

それは 1000 円以上するのですが、それを買っている人たちは  
基本的に頭がよく、将来のことを考えています。

そこでその配っていた雑誌を今度はそこらの難関大学以外でも  
出しました・・・すると売り上げが激減したのです。

1000 円で誰も買わない・・・立ち読みもしないし  
特に 1000 円が痛くて手に取らない。

これって何を意味しているかわかりますか？

ちょっと説明が不足していたので別の例で置き換えましょう。  
この前、僕はとある人と食事しました。

そしておごってもらいました。

このとき、僕には自己責任が出ます。  
それは、この人の疑問を全力で解決してあげようと。

で、もし相手がおごったり  
あるいはコンサルタント料金という名目でお金をいただかない場合は  
どんなアドバイスも無駄になります。

なぜなら人間、お金を払うということは

それだけ生きること必死だからです。

誰だって出来れば無料のまま全てをもらいたいですね。

でも、テレビありますけれど

あれなんてほとんどいいことを語っても

真剣に受け取るものなんて誰一人いません。

なぜなら無料だからということで考えない。

無料レポートというものだってあるのですが

あれも無料でいいものはあるけれど

無料だから・・・別に見るだけでいいかと思って

真剣に読もうとしない。

僕が昨日配ったあのウラササの一つだって

真剣に読んでいる人は皆無だと確信しています。

理由は対価が存在しないから。

よく、本は図書館で読むよりもきちんと買って読めといいますが

その理由は買って読むほうが価値が上がるだけでなく

自分のものとして自由にすることが出来るからです。

僕だって直感が働かない限り、めったに本は買わないのですが

直感が働くときは基本的に戻してもまた手に取りたくなるものです。

人間、どうせ死んだらお金は手元に残りませんし

生きているうちに何をしたのかによって、差が出ます。

人間、他人と比べるよりも

死ぬまでの間に自分はどれだけ好きなことをして

人生が心から楽しかったなあという日々を送れたか？

そこに全てがかかっていると確信しています。

なぜなら、人間の人生は「歓喜」で出来ているからです。

苦しみだって究極的に突き詰めると

歓喜になります。

もし、苦しいと感じるのだったら、ますます苦しくなっても  
歓喜が出てこなければ、それはたいした苦しいことじゃない。

というより、自分で自分を追い込んでいないだけのことです。  
僕だって追い込まれるのはいやなものでしたが  
最近、むしろ自分を追い込んでいます。

やはり作品といい、アフィリエイトといい  
生き方といい・・・追い込まれたときに出る

火事場の馬鹿力がでるんですよ。恐ろしいことに。

これができるようになったら  
本当に人生が楽しくなります。

どんな問題がきても「時間が解決してくれる」という緩やかな視点で  
物事を考えて、そして対応している自分がいます。

というより、こういう状態になると、運気ってのは  
自分で運んでくるものなんだなってことに気がつきます。

前にも書いたのですが、神様が嫌いなのはすぎる人間です。  
無料で読んでも何も得ないのは  
やはりすぎっているからなのです。

「私は稼げないから稼ぎたい」と悩みを持っている。  
で、そこに無料で情報を差し出した。

しかし、その人は必ずこういうのです。  
「神様、これじゃあ何を言いたいのかわかりません」

神様はせっかく出しているのにショックを受けます。  
そういうショックを受けるのがわかるから、  
神様はすぎる人間、自分に祈る人間を嫌います。

で、逆に自分に対して祈らないでむしろ挑戦し  
人生に果敢に挑むものは喜んで手を貸します。

だって映画のシーンで最も面白いのは主人公が

誰かにすがり付いている姿じゃなく、一生懸命な姿です。

無我夢中で目の前の問題を次々と乗り越えている。  
そういう姿がとても好きなのです。

あれってここで気がついた方。  
神様ってすなわち####name####様なんですよ。

####name####様が映画を見ていて一番面白いのは  
主人公が誰かに甘えてすがりつくところよりも

「俺を見てくれ、死んだら頼む」と覚悟を持って  
果敢に何かに戦いを挑む姿ですよ。

話がそれているので元に戻しますが  
有料と無料の差というのはその人の「覚悟」だと思っています。

すなわち、無料には自分自身に覚悟がないから  
得るものも何もないけれど

有料だと自分自身はすでに覚悟を持って手に入れたから  
何としても取り返すという気力が働く。

自分で「ねばならない」環境に追い込むのはとても大切です。  
そしてそれは無料だと絶対に生まれない。

なぜなら無料だと24時間限られている中で  
最大限のことをやるんだってことを忘れているし

しかも無料で誰でも読めるから、自分に諦めを付けてしまう。  
そういうところです。

行動できない人の大半は「この世界で生きる覚悟が足りない」  
ただ、それだけです。

####name####様はこの世界で本当に生きる覚悟がありますか？



泥水を飲むような体験をしても立ち直りますか？

うだうだ言う変な脳みそを跳ね除けて、動けますか？

###name###様のこれからの人生はそこにかかっています。  
実際僕だって成果を出すために有料で教材を手に入れたり

あるいは実験と称して先に広告などを流しては  
結構どぶに流しています。

でも、うだうだいってとまっているうちは  
本来のやりたいことを忘れてるに等しいのです。

まあ、参考までに自分の人生を劇的に変えたいのだと  
申すのでしたら、こちらを参考にしてください。

→

でも、面白いですね。  
血肉とするのに必要な対価って肉体でも健康でも臓器でもない  
お金なんですから。

それではありがとうございます。

-----  
佐々 賢太郎

メール kntr33@piano.ocn.ne.jp

HP <http://daikon33.biz/>  
-----

配信解除URL

<http://1lejend.com/d.php?t=###tourokuid###&m=###mail###>

僕って本当に結構書きますね。

ということで、次は舞台裏らいていんぐの紹介に入ります。

まあこれもウラササにつながるルートですが。

## 7日目 ウラにある限界

####name####様

こんにちは。

佐々 賢太郎です

ちょっとこれじゃあ足りないよな。

まあ、今日はいきなりこんなお話です。

僕はこういう教材を出しています。

舞台裏らいていんぐ

→

こちらは稼いでいる人のウラをまとめて

そして商売とはこういうことで

実際のテクニックやノウハウはこういうことだよ～

ということを述べています。

僕はこれに結構自信があったのですが

これをリニューアルしてから、僕はあることに気がつきました。

「これ、本当に裏を出しているのだろうか？」

僕にとってこれは大きな問題でした。

なぜなら、稼いでいる人のウラと言っても

実際にどうやって何をどうするのかといった  
細かいウラがなかったからです。

舞台裏らいていんぐと書いたものの  
僕からすると、これはらいていんぐノウハウでした。

で、お客様から来る多くのメール。

「稼げません」  
「稼ぎのイメージがよくわからないです」

これらに対応するにはどうしたらいいのか。  
悩みました。

そしてある日、自分本来の生き方を取り戻したときです。  
ちなみにその方法は佐々メソッドにありますので  
そちらを参考にしてください。

→

僕って伝えることに使命を持っている。  
で、伝えるものは何かと言ったら僕の全て。  
僕の生き恥そのものじゃないか。  
それをアフィリエイトや小説、いろんなことに当てはめていくんだ!!

こうやって出たとき、舞台裏らいていんぐをみて

「ああ、そうか・・・僕はこのウラが抜けていた」  
と、これまで舞台裏らいていんぐをリニューアルしてでていた  
もやもやっていたのがすっきりしました。

実際、そのウラをやることによって  
僕は使命を伝えているので、かなり真剣に取り組むことができます。

実際、そのウラには人に見てもらったところ

「ここまで詳しいとは・・・すごいです  
ちょっと足りないところもあります、  
ブログって？ アドセンスって？」

といった、相手からの突っ込みもあったこと。  
そう・・・使命にしたがって生きて  
使命として全てをやろうと決めたときに

僕しかないだろうビジネスを見つけたのです。

おそらくこれを多くの人に説明しても  
??? となります。

無料でお伝えしても（実際にこのメールで）  
???じゃありませんか？

そうなんです・・・これは僕のひらめきなので  
ひらめきって人に伝わらないんですよ。

なぜならその人の技術とありあわせの道具で出来るものだから。

だから、僕からすると生き様をかけたものになるので  
資金がどっと流れ込んでくるようになりました。

また、怠けていると痛い目にあうこともわかります。  
実は####name####様も稼ぎのウラを実際に自分で当てはめて使い  
そして、稼ぎの裏を通じて自分の裏、本質がみえるようになったら

本当に人生が変わります。  
人生は歓喜でできていると昨日お伝えしましたが

24 時間死ぬまで歓喜になることをずっと行っていけばいいのです。  
アフィリエイトだと行動できなくても

歓喜のための手段としてアフィリエイトする

僕の場合はアフィリエイト＝お金を得る手段  
というよりも

アフィリエイト＝自分の生き恥を伝えやすい道具

として扱っています。

だから、真剣な僕をさらけ出すことが出来るようになります。

真剣というのは生きるか死ぬかのような感覚で

しかも、絶望的な考えがよぎったら、いっそのこと絶望になればいいのです。

なんというか・・・絶望のほうに飛び込んでみる。

そしたら生きる力ってもりもりとわいてきます。

絶望が「いやだなあ」「こわいなあ」と思っているから

立ち止まっているのです。

「よーし、絶望に足を踏み入れてやる」

といって踏み入れたら、本当に楽しくなります。

絶望だと思っていたのは実はそうじゃなかった。

まあ、こういう気持ちは僕だけで十分かもしれないですね。

で、明日は実際にそのウラを知ってやった人から

声をいただいているので、そのお話を。

では

---

佐々 賢太郎

メール kntr33@piano.ocn.ne.jp

HP <http://daikon33.biz/>

---

配信解除URL

<http://1lejend.com/d.php?t=###tourokuid###&m=###mail###>

